

2019年12月24日

各 位

不動産投資信託証券発行者
日本ロジスティクスファンド投資法人
代表者名 執行役員 亀岡 直弘
(コード番号：8967)

資産運用会社
三井物産ロジスティクス・パートナーズ株式会社
代表者名 代表取締役社長 亀岡 直弘
問い合わせ先 財務企画部次長 関口 亮太
TEL.03-3238-7171

DBJ Green Building 認証取得に関するお知らせ

日本ロジスティクスファンド投資法人（以下「本投資法人」といいます。）は、2019年12月24日付で本投資法人が保有する4物件について、DBJ Green Building 認証を取得しましたのでお知らせします。

記

1. DBJ Green Building 認証取得物件及び評価ランク

M-11 八千代物流センター（千葉県八千代市上高野 1734 番 4 他）



極めて優れた
「環境・社会への配慮」が
なされた建物

M-24 新子安物流センター (神奈川県横浜市神奈川区守屋町三丁目 12 番他)



極めて優れた
「環境・社会への配慮」が
なされた建物

M-28 千葉北物流センターⅡ (千葉県千葉市稲毛区長沼町 55 番 1 他)



非常に優れた
「環境・社会への配慮」が
なされた建物

O-4 加須物流センター (埼玉県加須市南篠崎一丁目 2 番 1)



非常に優れた
「環境・社会への配慮」が
なされた建物



2. 評価を受けた点

今回の認証では、以下の点を評価されました。

M-11 八千代物流センター

- ・倉庫内や事務所の照明は全て LED 照明を採用すると共に、自動水栓・人感センサー付き照明・節水型トイレを設置するなど、優れた省エネ性能を有する点
- ・天井高さ・床荷重・柱スパン・ドックレベラー・庇長さなど、庫内において要求される基本スペックが十分に整備されている点
- ・免震工法の採用や、テナント用予備電源の設置場所の確保など、建物の防災性能に配慮している点

M-24 新子安物流センター

- ・倉庫内や事務所の過半にあたる照明に LED 照明を採用すると共に、自動水栓、省エネ推進ポスターを設置するなど、建物の省エネ性能に配慮している点
- ・天井高さ・床荷重・ドックレベラー・庇長さなど、庫内において要求される基本スペックが十分に整備されている点
- ・制震工法の採用や、テナント用予備電源の設置場所の確保など、建物の防災性能に配慮している点

M-28 千葉北物流センター II

- ・倉庫内や事務所の照明は全て LED 照明を採用すると共に、自動水栓・節水型トイレを設置するなど、建物の省エネ性能に配慮している点
- ・柱スパン・ドックレベラーなど、庫内において要求される基本スペックを整備すると共に、施設の長寿命化のために必要な修繕を計画的に実施している点

O-4 加須物流センター

- ・共用部における人感センサーによる消灯・減灯制御、自動水栓の採用など、省エネ・省資源により環境負荷低減を図っている点
- ・天井高さ・床荷重・ドックレベラー等、庫内において要求される基本スペックが十分に整備されている点

3. DBJ Green Building 認証の概要

DBJ Green Building 認証とは、環境・社会への配慮がなされた不動産（“Green Building”）を支援するために、2011 年 4 月に株式会社日本政策投資銀行（以下、「DBJ」といいます。）が創設した認証制度です。当該制度は対象物件の環境性能に加えて、防災やコミュニティへの配慮等を含む様々なステークホルダーへの対応を含めた総合的な評価に基づき、社会・経済に求められる不動産を評価・認証し、その取り組みを支援するものです。2017 年 8 月より、認証は一般財団法人日本不動産研究所で行い、DBJ は制度全体を統括しています。

当該認証制度の内容等については以下をご参照ください。

DBJ Green Building 認証に関するウェブサイト：<http://igb.jp/>

4. 今後の取り組み

今回の取得により **DBJ Green Building** 認証を取得した本投資法人の保有物件は 13 物件となりました。本投資法人は、環境・省エネルギーへの配慮及び地域社会への貢献等を中心としたサステナビリティに関する取り組みを今後も推進していきます。

以上

※ 本投資法人のウェブサイト <https://8967.jp/>